

「日本女性会議2025檀原」第9回実行委員会報告

全文要約(公開用)

<u>1 開催日時</u>	令和7年8月22日(金) 午前10時~12時00分
<u>2 場所</u>	大和信用金庫八木支店3階第3、4会議室
<u>3 出席委員</u>	21名(代理1名)
<u>4 欠席委員</u>	5名
<u>5 事務局</u>	8名(檀原市企画戦略部、人権政策課)

6 報告事項

- (1)承認第1号 檀原市民の参加費引き下げ等に伴う実行委員長の専決処分について
- (2)報告第1号 企画部会について
- (3)報告第2号 広報部会について
- (4)大会参加受付について
- (5)ボランティア申込について
- (6)物産展について
- (7)かしはら未来会議について

7 議事の経過の概要及び議決の結果

***6 報告**

(1)承認第1号 檀原市民の参加費引き下げ等に伴う実行委員長の専決処分について

【結果】:承認

【事務局報告】

7月4日に臨時の実行委員会を開催し、檀原市民の参加費引き下げと枠の拡大、市内在住または在学の学生枠の新設、ノベルティグッズの充実の3点について検討しました。7月の臨時議会で補助金400万円の増額を盛り込んだ補正予算が可決されたことを受け、実行委員長の専決で予算編成を行いました。

予算の変更点は以下の通りです。

- 収入:補助金が1000万円から1400万円に増額、参加者負担金が980万円から690万円に減額、市民枠の減額と追加、学生枠の新設により290万円の増加
- 支出:ノベルティグッズ費用として、消耗品費が192万8,000円から292万8,000円に100万円分増額、システム改修費用として手数料が10万円増加

以上の変更により、全体の予算額が3463万6,237円から3573万6,237円に110万円増加しました。本日の会議において、実行委員長の専決処分の承認を求めるものです。以上が資

料 I の説明となります。委員の皆さま、よろしくお願いいたします。

【意見】

(委員)

では承認第一号について、ご承認いただけますでしょうか？

(承認)

では以上で議案第一号を終わらせていただきます。

(2) 報告第1号 企画部会について

【事務局報告】

7月7日に行われた第9回目の企画部会について、2部構成で開催しました。前半では、分科会当日の運営について関係部局の副部局長と意見交換を行いました。後半では、実行委員長や副実行委員長も出席し、10月4日の全体会の概要について協議しました。

次に、全体会の概要については以下の通りとなりました。

午前10時20分からの基調報告では、内閣府男女共同参画局長が登壇する。

午後2時50分からの記念シンポジウムでは、5月24日開催のイベント「1day ジェンカレ」に参加した大学生4名が登壇する。

また、シンポジウム前の休憩時間には「1day ジェンカレ」当日の様子をスライドで紹介する。

最後の閉会式では全国大会常連の八木中学校マーチングバンド部が出演し、大会を締めくくる。

以上、簡単ではあるが企画部会の報告とさせていただきます。

【意見】

(委員)

基調報告が内閣府の局長に決まり、よかったと思います。

(3) 報告第2号 広報部会について

【事務局報告】

広報部会では、7月15日に第9回目の会議を開催し、広報活動の具体化、周知及び大会当日に配布する物品等について検討しました。

6月の活動では、女性会議の参加申し込みの開始、ポスターやパンフレットの全国への配布、ポスター・パネル展の開催、近鉄駅でのチラシ配布等を行いました。また、SNS や各種メディアを通じた周知活動も実施しました。

7月以降も、差別をなくす強調月間にあわせてチラシやグッズを配布したり、近鉄の電車内でスポット広告を行うなど、様々な広報活動を展開しました。8月には市の広報誌で特集記事を掲載したほか、市内各所にポスター掲示をしていただきました。

また、大会当日に配布するトートバッグを製作することになり、デザインは奈良芸術短期大学にお願いしました。

交流会については、10月3日の夕方6時半から開催し、全体で260名の参加を見込んでいます。車いすダンスのアトラクションや、次回開催地の丸亀市からのPRタイムを設けるなど、参加者の交流を深めるプログラムを用意しています。

【意見】

(委員)

全国の女性センターや市町村に広報したと思いますが、県下の市町村等の申し込み状況はどうなっているでしょうか。

(事務局)

まだ申し込み状況の詳細は不明です。

(4)大会参加受付について

【事務局説明】

8月20日にシステムからの申込受付を終了し、集計した結果、種々の申込枠から合計1331名の参加申し込みがありました。

橿原市民枠は237名が埋まっておりますが、橿原市在住もしくは通学の学生、その他の学生の無料枠にはまだ空きがあります。

また、全体会については予定している大ホールをほぼ満たしておりますが、各分科会の募集状況については、100%埋まった第4分科会と第9分科会を除き、まだ多くの分科会に空きがあります。

そこで、システム受付は終了いたしました。メ切を9月16日まで延長し、事務局にて直接追加申込を受けたいと考えております。

橿原市民や県民の方を中心に、改めて申込を募っていきたいが、HP等、積極的な広報は行わない予定です。また原則、現金徴収での受付を行っていく予定です。

【意見】

(委員)

非常に大事なお話でした。実行委員はどのようにすればよいでしょうか？

(事務局)

後日、メール等にて申込の詳細をご案内します。

(委員)

大学生については、現在後期の履修登録期間の前であるため、無料枠ではあるが今後まだ参加を増やしていけると考えられます。

(委員)

全体会は埋まっているとのことですが、追加で申込できるのは分科会のみなのでしょうか？

(事務局)

全体会も申込可能です。ですが、弁当等のオプションは受け付け不可となっております。

(委員)

現金徴収について、市内ならば問題ないと思いますが、市外の方はどう対応する予定でしょうか。

すぐに呼びかけできる距離にいる人に呼び掛けるのが中心になるのでしょうか。

(事務局)

原則現金でのお受けになるが、実行委員会事務局の口座に振り込み等も検討いたします。

(委員)

どのくらい呼びかけをしていくべきなのか、口頭では現金の支払い方法等、案内が難しい面もあると思います。呼びかけや案内の方法を整理していただきたいです。

また、大学等に呼びかけを行い、組織的なとりまとめをするならば、しっかりお知らせなどしたほうが良いのではないのでしょうか？

(委員)

今後は積極的な案内はしないということですが、20日までに申し込んでいるのは、元々女性会議に興味のある層で、申込するかどうか迷っている層がまだいるのではないのでしょうか。煩雑だとは思いますが、当日受付等もご検討されてもよいのではないのでしょうか。

(事務局)

まず、当日受付については予定しておりません。次に周知についてですが、現在追加で募集を行いたいのが、7月議会にて追加の承認を得た、檀原市民枠、学生枠が中心ですので、そういった層へのご案内を中心に、追加受付を行う予定です。

(委員)

まず、檀原市民枠が400人に対し237人しか集まっていないことについて、過去の倉吉のイベントでは鳥取県から1600人、他府県から400人の参加があったのに対し、今回の檀原は他府県から600人が参加しており、倉吉より多いものの、まだまだ奈良県民の参加が少ないといえます。次に、HPの情報について、申し込み期間の延長をするのであれば、その内容を反映すべきではないのでしょうか。以上のように、参加者の集客や情報発信の面でまだ改善の余地があるため、実行委員会と市が一丸となって取り組むべきだと思います。

(委員)

いろいろな意見があると思うが、それぞれの委員も関係者に呼び掛けています。やはり誰もがみれる形での案内を行い、積極的な働きかけが必要ではないのでしょうか。

(事務局)

まず、20日時点で参加者を集計し、検討を重ねた結果として、もっと参加者を増やしていくべきではないかという結論になりました。ですが、システム受付が終了したため、事務局が直接受けつけ、処理しなければならないこと、参加証の発送等から、お受けできる期限が9月16日になる、と事務局で昨日判断いたしました。そのため、本日この場で皆様に諮った後、具体的な事務を開始する予定です。また申し上げた通り、事務局で処理する関係もあり、原則現金での支払いをお願いしたいと考えております。

(委員)

昨日、システムが終了したため申込できなかったとご相談を受けました。そういった声もありますので、できるだけ早くHPに掲載したほうが良いと思います。また、申込はしたが、当日実際には来ない

方もいると思われますので、やはりまだまだ呼びかけを継続し、募集していくべきではと考えます。

(委員)

20日以降はJTBに委託したシステムから外れ、事務局員が手作業で受け付け、作業していきます。かなり労力を要しますが、なんとか9月16日までなら受けつけられるだろう、という風に判断しまして、現状の体制でこれから16日までやっていく所存です。また、当日の現金支払いでの受付については、整理が煩雑になりますので、やはり困難であると考えております。

(委員)

具体的な事務の詳細については事務局でご検討ください。ですが、HPでの広報は有効なのではとも思いますので、早急にご判断頂きたいです。

(委員)

市内、県内の男女共同参画等、業務に関連する各団体向けに案内を行い、～名の参加動員を呼び掛ける等してはいかがでしょうか？また、HPもよいですが、団体の年齢層によっては紙ベースでの案内も必要かと思えます。

(事務局)

各分科会を担当する市内部局から、関連する団体への周知は実施しています。ですが、参加費を徴収するため、強制するようなお願いは難しいのが現状です。また事務局としても、民生児童委員や自治会の総会等に参加し、呼び掛けを実施していました。また、そういった場合に、システムでの申込が難しいという意見はあったので、今後紙でのご案内も再検討します。

(委員)

市町村の男女共同参画担当課からの申込状況などはわからないでしょうか？申し込みしていない自治体に参加を呼びかけては。

(事務局)

何名申し込んだかなどは現状わからないのですが、改めて呼びかけは実施していきます。

(委員)

開催地である奈良県が盛り上がるのが重要だと思えます。

(委員)

今後、追加申込についてHPで公開するならば、SNSでの案内等もしてよろしいのでしょうか？

(事務局)

HP、SNSについては、事務局で事務作業も整理したうえで、難しいと判断していますが、改めて早急に事務局で可否を検討させていただきます。

(委員)

既に申し込み期限は終了している中で、そもそもこの議論を今行うことが少し疑問に思います。

(委員)

お金のこともあるけど、やはり奈良県内の参加者を増やしていくのは大事です。HPが難しいのであれば、別の方法ご検討いただきたいが、できるだけ市内の方に対しての呼びかけを検討してください。

(委員)

16日までの呼びかけを広報しないのであれば、実行委員のみで、関係者に呼びかけをして行くのはいかがでしょうか。関係者内で Google フォームを作成、申込内容を整理し、とりまとめるなどすれば負担も少ないのではと思います。

(委員)

では、結論を事務局で整理していただき、実行委員にお示しください。それを見て、委員としてできる手立てを考え、再度協力依頼をしていきたいと思います。

(5) ボランティア申込について

【事務局説明】

(事務局)

3日(金)の分科会では、奈良県橿原分科会館と奈良県社会福祉総合センターの2会場で予定しており、現状募集人数を満たしておらず、実行委員の所属団体等を中心に募集継続しています。

4日(土)の全体会は市内企業を中心に募集人数を大幅に上回る申込をいただきました。

5日(日)の「かしはら未来会議」でも、募集人数を満たしております。

合計の参加人数は67人で、様々な団体からの申し込みがありました。

【意見】

(委員)

自分の所属団体からもボランティア申込を行っているが、一部の人は費用を支払い、女性会議への参加申込も行っています。可能ならば、分科会等にスムーズに参加できるように、配置にご配慮いただけないでしょうか。

(事務局)

また配置体制についてはご相談させていただきたく思います。

(委員)

このボランティアスタッフとは、実行委員が内訳に含まれないのでしょうか？

(事務局)

実行委員は含まれておりません。

(委員)

4日の申込者に、3日に移行するよう相談できないのでしょうか。

(事務局)

団体からの申込者を中心にご相談したのですが3日が平日のため、難しいとのことでした。

(6) 物産展について

【事務局説明】

(事務局)

物産展については、橿原分科会館で、3日と4日の2日間、ブース出店を行う予定です。出店の取

りまとめは地域振興課が行っており、初日は13事業者、2日目は14事業者が出店予定です。3日は分科会館の開館時間に合わせて11時半～18時、4日は11時～18時で開催予定です。また、お土産を多く購入される方も想定されるため、宅配業者との調整も行っております。

【意見】

(委員)

たくさん出てくれるようで良かったです。芝生広場では何かあるのでしょうか。

(事務局)

当日、ニュースポーツ等の別のイベントが実施される予定です。

(7) かしはら未来会議について

【事務局説明】

(事務局)

かしはら未来会議は、檀原市の中学生・高校生が提案する「日本国はじまりの地からの well-being なまちづくり」をテーマとする会議です。開催日は10月5日(日)の10時からで、かしはら万葉ホールで開催されます。参加費や事前申し込みは不要です。

参加校は6校で、檀原高校、檀原学院高等学校、聖心学園中等教育学校、光陽中学校、八木中学校、畝傍中学校です。現在は参加校で内容の検討や調査を行っており、9月中に中間報告とプレゼンテーションの確認をする予定です。

当日は10時の開会に続き、10時20分頃から各校7分ずつプレゼンテーションを行い、審査員による審査と会場参加者による投票が行われます。その後、市長との対話の時間を設け、12時20分頃から表彰式を行う予定です。表彰は会場の様子や審査結果を踏まえて、会場特別賞、最優秀賞、優秀賞を検討しております。広報につきましては、チラシや SNS、子供保護者連絡サービスなどを活用し、PR 活動を行っていきます。

また、NPO 法人のならチャレンジドさんにも参加いただき、特別支援学校の生徒が受付等の運営を中心に担当するとのことでした。

【意見】

(委員)

実行委員は当日、どのようにしたらよいでしょうか？また、各校の発表の中で、女性会議につながるようなお話も聞けたら嬉しいと思います。

(事務局)

当日は是非、ご観覧いただけましたらと思います。

***その他報告、意見等**

(事務局)

エクスカッションについて、申込募集の結果、2つのプラン(檀原神宮特別参拝、古民家オーベルジュ)について催行することになったと報告します。また交流会について、一般枠での定員180名分

のお申込みがありましたことを、ご報告いたします。

(委員)

県内外から多くの方が参加する大会の準備が整いました。橿原市や県内の方々、男女共同参画センターの皆さんの協力を得て、この機会に自分たちのまちをより良いものにしていく良い機会になるのではないかと期待しています。当日の交流会も楽しみにしています。分科会の活動にも引き続き参加してもらえると良いでしょう。事務局の方や委員の皆さんも大変な中、地道に準備を重ねてきました。10月3日の開催に向けて、皆さんで力を合わせて頑張っていきましょう。